#### 工場等設置許可申請書

年 月 日

明石市長様	
申請者	住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
	電話 ( ) — —
	電子メール
	担当者氏名
工場等の名称	資本金の額又は出資の総額
工場等の所在地	
業種	主な製品又は加工の種類
作業の種類及び方法	常時使用する従業員の数
別添作業工程図のとおり	
7.4.4. の 4世 7.4.7.1 円 7.8.1.1 円 7.8.1 円	指定施設及び特定施設等の種類、構造、配
建物の構造及び配置	置並びに使用及び管理の方法
別紙1のとおり	別紙2のとおり
ばい煙等の処理の方法	工事の着手年月日
別紙2のとおり	別紙2のとおり
工事の完成年月日	工場等の使用開始年月日
別紙2のとおり	年 月 日
備考	

## 別紙1

建	物の配置図	別添図面のとおり	
敷	地 面 積(㎡)		
施	建物の名称等		
設等	階数		
を 設	構造		
置す	建築面積(m²)		
る建	床面積(㎡)		
物	作業場面積(m²)		

#### 別紙2

## 1 粉じんに係るもの

(1) 粉じんの施設の種類、構造、使用の方法及び粉じん処理の方法

工	場	等に	おし	ナる	施	設者	备 号						
施		設	C	り	種		類						
名		称		•	型		式						
規			模	(쉵	FI I		力)						
エ	事	Ø	着	手	年	月	日	年	月	日	年	月	日
l	事	の	完	成	年	月	日	年	月	日	年	月	日
使	原	種					類						
用	材	使	用	<u> </u>	割	合	(%)						
<i>(</i> )		使	用	量	-	<b>計間当</b>							
方	料					日当							
	使		用 ———	温			(°C)						
法	製品回収率(%)												
処	発生が予想される粉じんの種類												
	発 生 の 理 由												
	処ま	里施設	どの種	重類 •	· 名 和	<b>沵 •</b>	型式						
理	HEL	対ス量	L (	NI ro2	/ h )	処	理前						
	19F江	1 <i>/</i> / // §	<u> </u>	IN III /	Π)	処	理後						
•	排	出ガ	ス涯	!	(°C)	処	理前						
の	151	ш /⁄	/\ 1Ш	1 /文	( )	処	理後						
	排占	出口の				処	理前						
			(	(g/]	Nm³)	処	理後						
方	捕						(%)						
	排ガス集煙(集じん)方法(又はできない理由)												
	煙突 径)	芒・フー	・ド等の	の大き	う (清	引さ×	頂口						
法	排	出		速	度	(m,	/s)						
管	<del></del> -	1 in	<u> </u>	岩	の	種	類						

## (2) 粉じん発生施設(堆積場)の構造並びに使用及び管理の方法

名     称     •     型     式       規     面     積 (m²)		
相 云 锤 (…²)		
規   面		
模堆積能力(t)		
工事の着手年月日 年 月日	年 月	日
工事の完成年月日 年月日	年 月	日
堆積物の種類・性状・通常の年間延       で堆積量       (t/年)		
堆積物がその中に設置されている建 築物の概要		
用散装置の種類・型式・基数		
装 置 の 能 力 (m³/h)		
及水散水の方法		
防じんカバーの設置状況		
薬薬液の種類・名称		
管複装置の種類・型式・基数		
散 装 置 の 能 力 (㎡/ h)		
理布物の方法		
締     装     置     の     種     類     ・     型     式		
めにおりません。		
方		
法他		

# (3) 粉じん発生施設 (コンベア) の構造並びに使用及び管理の方法

工	場等における施設番号						
名	称 · 型 式						
規	ベ ル ト 幅(cm)・ バケット内容積(m³)						
	単 基 の 長 さ(m)×基 数						
	ベルト・バケットの速度(m/分)						
模	運 搬 能 力(t/h)						
工	事の着手年月日	年	月	目	年	月	日
エ	事の完成年月日	年	月	日	年	月	日
	運搬物の種類・運搬物の性状・通 常の月間運搬量 (t/月)						
使	コンベアがその中に設置されてい る建築物の概要						
用	集集じん機の種類・型式						
及	じ 集 じ ん 機 の 効 率 (%)						
び	機 送風機の原動機出力 (KW)						
	散装置の種類・型式						
管	水   装 置 の 能 力 (m²/h)						
理	備 運搬量当たり散水量(ℓ/t)						
0	防じんカバーの設置状況						
方	7						
法	Ø						
14	他						

## (4) 粉じん発生施設(粉砕機、摩砕機、ふるい)の構造並びに使用及び管理の方法

		41 (C %	3 ける	施言	分 番	号						
施		設	Ø	種		類						
名		称	•	型		式						
規	原	動機の	定格	出力	(KW	V)						
模	処	理	能	力	(t/l	h)						
エ	事	Ø :	着 手	年	月	日	年	月	日	年	月	日
工	事	Ø :	完 成	年	月	日	年	月	日	年	月	日
使用及び管理の方法	理粉に 集じん機 散水装置	を機でする。 なが、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、というでは、 は、こっでは、 は、こっでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の 一	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	t / F が 概 型 ・ W W 型 / h 散 (Q / )	1) 中						

## 2 汚水に係るもの

#### (1) 汚水排出施設の構造等

工場等における施設番号		
施 設 の 種 類		
名 称 • 型 式		
構造		
主 要 寸 法		
能 力		
施設・関連主要機械・装置の配置	別添図面のとおり	
工 事 の 着 手 年 月 日	年 月 日	
工 事 の 完 成 年 月 日	年 月 日	
そ の 他		

## (2) 汚水排出施設の使用方法

工場等にこ	おける施設番号	-	
施設の	設 置 場 所	別添図面のとおり	
施設の	操業系統	別添図面のとおり	
施設の使用時間	寺間間隔・1日当た 引		
使用の季節	節内変動の概要		
原材料の種類当たりの使用	頁・使用方法・1日 月量		
	рΗ	通常 最大	
指定施設・	BOD (mg/l)	通常 最大	
特定施設等から排出さ	COD (mg/l)	通常 最大	
れる汚水の	SS (mg/l)	通常 最大	
汚染状態		通常 最大	
		通常 最大	
	時定施設等から排出 O量 (㎡/日)	通常最大	
そ	の他		

## (3) 汚水の処理の方法

汚 水 処 理	施設の名称						
汚水処理施	設の設置場所	別添図面	のとおり				
汚水処理施設の	の工事の着手年月日		年	J	1	月	
汚水処理施設 <i>0</i>	の工事の完成年月日		年	J	1	月	
汚 水 処 理							
汚 水 処 理	施設の形式						
汚水処理施	設の主要寸法						
汚 水 処 理	施設の能力						
汚水の	処 理 方 法						
汚水の	処 理 系 統						
汚水の集っ	水 · 導 水 方 法						
	汚水処理施設の使用時間間隔・1 日当たりの使用時間						
使用の季節							
汚水の中和・嶺 薬剤の1日当た	延集・酸化の用途別 こりの使用量						
	処理前・後の区分	処	理	前	処	理	後
	рΗ	通常	最大		通常	最大	
処理前・後の	BOD (mg/l)	通常	最大		通常	最大	
汚水の汚染状	COD (mg/l)	通常	最大		通常	最大	
態	SS (mg/l)	通常	最大		通常	最大	
		通常	最大		通常	最大	
		通常	最大		通常	最大	
処理前・後の汚水の量(m³/日)		通常	最大		通常	最大	
処理による残さの種類・月間の種 類別生成量・処理方法							
排出方法(排がの数・排出先・	別添図面	のとおり					
7	の他						

#### (4) 排出水の汚染状態及び量

排水口	項目等	排水量 (m³/日)	рΗ	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						
そ 0	り他						

## (5) 用水及び排水の系統

用元統	<b>大及び排水の系</b>	別添図面のとおり							
	取 水 (m³/日) 用 水 (m³/日)	A上水造	工業用 B 水道	C地下水	D河川水	E海 水	Fその他	計	
用	原料用水								
途	洗净用水								
別用用	冷却用水								
水	生活用水								
使	その他								
用	計								
量	用水使用量 の季節的変 動の概要								

注 循環使用水については、内数で括弧書きしてください。

## 3 ばい煙に係るもの

## (1) ばい煙発生施設の構造等

エ	場等における施設番号		
施	設の種類		
名	称 · 型 式		
	伝 熱 面 積(m²)		
規	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 l/h)		
乃江	原料の処理能力(t/h)		
	火格子面積・羽口面断面積 (m²)		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼 却 能 力(kg/h)		
	燃 焼 室 の 容 積 (㎡)		
## <del>*</del>	乾燥施設の容量(㎡)		
模	電 流 容 量(KA)		
	ポ ン プ の 動 力(KW)		
エ	事の着手年月日	年 月 日	年 月 日
エ	事の完成年月日	年 月 日	年 月 日

## (2) ばい煙発生施設の使用及び管理の方法

使用状況     1日の使用時間及び月 使用日数等     時間/日 日/月     時間/日 日/月       季 節 変 動     類       原材料     種     一個     一個     一個     一個     一個     一個     一日     日/月     日/日
原材料     種     類       (ばい煙 の発生に 影響のあるものに 限る。)     原材料中の成分割合 (%) ム分 かドミウム分 かドミウム分 かドミウム分 かドミウム分 かん分 かん
(ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)     使用割合の(%) かいできりからの素分のでである。     (%) かいできりからの素分のである。     鉛分の素分のである。     一種類ないでは、料中の成分割合のである。     無数ののでは、料中の成分割合のである。     一次分のである。     での使用量のでは、またである。     でのでは、またである。     では、またである。     では、またでは、またでは、またでは、
の発生に 影響のあ るものに 限る。)  1 日 の 使 用 量  燃料又は  燃料 中 の 成 分 割 合  (%)  乗 熱 量  通常の使用量 (Q/h)  混 焼 割 合  に
影響のあるものに限る。)     1 日の使用量       燃料又は燃料中の成分割合(%)     類       燃料中の成分割合(%)     灰分(%)       が料文は     燃料中の成分割合(%)       が料文は     が料中の成分割合(%)       が料文は     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     が       が     み </td
るものに 限る。)     1 日の使用量       燃料又は 燃料中の成分割合 (%)     灰分 硫黄分 灰分 硫黄分       電力     強 別 量       電力     通常の使用量 (l/h)       混 焼 割 合     最大 通常
限る。) 1 日 の 使 用 量 種 類 燃料又は 燃料中の成分割合 (%)
燃料又は 燃料中の成分割合 (%)
(%) 灰分 (硫黄分 灰分 (硫黄分 灰分 (硫黄分 灰分 (元黄分 (元 大) (元 大
電力 通常の使用量 (Q/h) 混 焼 割 合 湿 り 最大 通常 最大 通常
混 焼 割 合   撮大 通常 最大 通常
湿り最大通常最大通常
湿り最大通常最大通常
TE H # 7 =   N   w /
排出ガス量 (Nm³/h)   乾 き 最大 通常 最大 通常
排 出 ガ ス 温 度 (℃)
ばいじん (g/Nm²) 最大 通常 最大 通常
硫 黄 酸 化 物 (容積比ppm) 最大  通常    最大  通常
ばい煙の     カドミウム及びその化 合物 (mg/Nm²)     最大     通常       最大     通常
塩 素 (mg/Nm²) 最大 通常 最大 通常
濃度 塩化水素 (mg/Nm³) 最大 通常 最大 通常
ふっ素、ふっ化水素及 びふっ化けい素 (mg/Nm²) 最大 通常 最大 通常
鉛及びその化合物 (mg/Nm²) 最大 通常   最大 通常
ばい煙量 硫黄酸化物(Nm²/h) 最大 通常 最大 通常
備考

## (3) ばい煙の処理の方法

月 日 月 日 月 日
月 日
月 日
月 日
月日
時
回/日
日/月

## (4) 有害物質の施設の種類、構造、使用の方法及び有害物質の処理の方法

工	場	等に	おり	ナ る	施	設 番	号						
施	設の種類												
名	称 · 型 式												
規	模 (能 力)												
工	事	F 0)	着	手	年	月	日	年	月	日	年	月	日
工	事	F 0)	完	成	年	月	日	年	月	日	年	月	日
	原	種					類						
使	材	使	用	割	Î	<b>合</b> (%)	)						
用の	\/\(\sigma\)	庙	Ħ	昌	1時間	当たり							
方	料	使 用 量 1			1 日	当た	. b						
法	使	J	用	温		度(	°C)						
	製品回収率(%)												
処	発生	生が予	想され	いる有	害物	質の利	重類						
	発 生 の 理 由												
	処理施設の種類・名称・型式												
理	排出ガス量 (Nm³/h) 処理前 処理後												
の	排 出 ガ ス 温 度 (℃)												
	19F i	排出口の有害物質濃度 <u>処理前</u> (ppm) 処理後											
方	捕		<u> </u>			率(%)							
	排ガス集煙(集じん)方法(又はできなしい理由)												
	煙突・フード等の大きさ(高さ×頂口径)												
法	排	出	迈	ŧ	度(r	n/s)	)						
管	Ŧ	里 言	+ =	岩	の	種	類						

## 4 騒音(振動)に係るもの

騒音(振動)の発生施設の種類、構造、使用及び管理の方法並びに騒音(振動)の防止 の方法

施設の種類	型式	公称能力	数	時~ 時	時間/回	回/日・日/月			
工事の着手年		日		工事の完成年月日 年 月 日					
騒音(振動)の防止の方法									
規制基準に定める騒音に関する地域区分の別									
規制基準に定める振動に関する地域区分の 別									

# 5 悪臭に係るもの 悪臭の施設の種類、構造、使用の方法及び悪臭の処理の方法

工	場等におけるが	也 設 番	号	
施	設 の	種	類	
名	称 •	型	式	
規	模(能力・	面	漬)	
エ	事の着手	年 月	日	
エ	事の完成	年 月	日	
使用の・	原料の種類・(貯蔵物の種類・	使 用 貯蔵量	量 )	
方法	製品名・	ų 造	量	
	建 屋 の	構	造	
	集気気	ち	法	
処	処理施設の種類・	名称・型	式	
	排出ガス量	処 理	前	
理	(Nm³/h)	処 理	後	
	排出ガス温度	処 理	前	
	(℃)	処 理	後	
0	排出ガス中 アンモニ	処 理	前	
	の悪臭物質	処 理	後	
1.	濃度 (ppm)	処 理	前	
方	(bbm)	処 理	後	
	排出口の高	さ (m	1)	
法	備		考	